

1. 概要

平成23年10月1日現在の住民基本台帳・外国人登録に基づく浜松市の人口は818,375人で、前年に比べ1,942人(0.24%)減少している。世帯数は318,213世帯で、544世帯(0.17%)増加している。

性別にみると、男性が407,360人(構成比49.8%)で、前年に比べ1,252人(0.31%)減少している。女性は411,015人(同50.2%)で、前年に比べ690人(0.17%)減少している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は99.1で、平成22年の99.2に比べわずかに減少している。

1世帯あたりの平均人員は2.57人で、前年に比べ、0.01人減少している。

【図1 浜松市人口の推移】

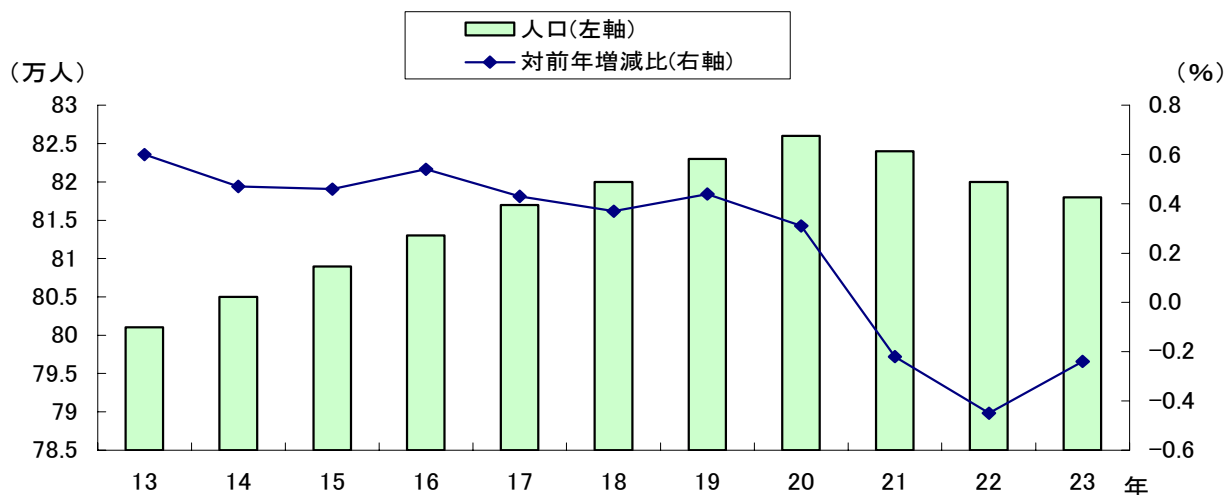


表1 浜松市人口・世帯数の推移

年	人 口					住 民	
	総 数	前年比%	男	女	世 帯 数	総 数	前年比%
平成 13年	801 406	0.60	397 965	403 441	282 979	778 118	0.34
14	805 180	0.47	399 775	405 405	287 511	780 649	0.33
15	808 840	0.45	401 666	407 174	291 931	782 875	0.29
16	813 202	0.54	403 861	409 341	296 758	784 852	0.25
17	816 658	0.42	406 065	410 593	301 643	786 300	0.18
18	819 699	0.37	408 372	411 327	306 014	788 102	0.23
19	823 272	0.44	410 378	412 894	313 150	790 292	0.28
20	825 810	0.31	411 822	413 988	316 716	792 191	0.24
21	824 023	0.22	410 644	413 379	318 158	793 505	0.17
22	820 317	0.45	408 612	411 705	317 669	792 788	0.09
23	818 375	0.24	407 360	411 015	318 213	792 691	0.01

注) 平成13年～16年は12月末日人口、平成17年以降は10月1日人口

表2 浜松市人口・世帯数等

	平 成 22 年 10 月 1 日						前 年	
	総 数	男	女	性比	世帯数	1世帯あたり平均人員	総 数	前年比%
総人口	820 317	408 612	411 705	99.2	317 669	2.58	818 375	0.24
住民登録	792 788	394 755	398 033	99.2	302 750	2.62	792 691	0.01
外国人登録	27 529	13 857	13 672	101.4	14 919	1.85	25 684	6.70

2. 住民基本台帳人口と外国人登録人口

平成23年10月1日現在の住民基本台帳人口は792,691人で、前年に比べ97人(0.01%)減少している。世帯数は305,874世帯で、3,124世帯(1.03%)増加している。

性別にみると、男性が394,635人(構成比49.8%)で、前年に比べ120人(0.03%)減少している。女性は398,056人(同50.2%)で、前年に比べ23人(0.006%)増加している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は99.1で、平成22年の99.2に比べ0.1減少している。

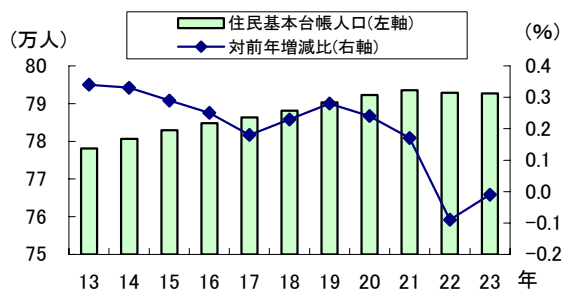
1世帯あたりの平均人員は2.59人で、前年に比べ0.03人減少している。

平成23年10月1日現在の外国人登録人口は25,684人で、前年に比べ1,845人(6.70%)減少している。世帯数も12,339世帯で、前年に比べ2,580世帯(17.29%)減少している。

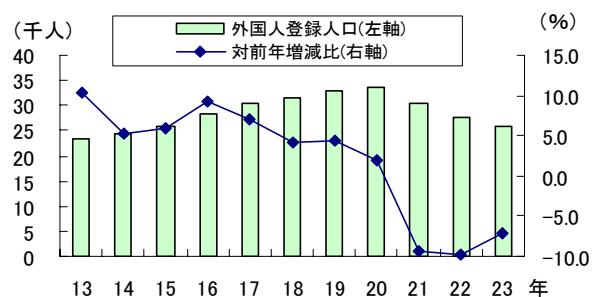
性別にみると、男性が12,725人(構成比49.5%)で、前年に比べ1,132人(8.17%)減少、女性は12,959人(同50.5%)で、前年に比べ713人(5.2%)減少している。性比(女性を100とした場合の男性の割合)は98.2で、平成22年の101.4に比べ減少している。

1世帯あたりの平均人員は2.08人で、前年に比べ0.23人増加している。

【図2 浜松市人口の推移(住民基本台帳)】



【図3 浜松市人口の推移(外国人登録)】



注)平成13年～16年は12月末日人口、平成17年以降は10月1日人口

登 録			外 国 人 登 録				
男	女	世 帯 数	総 数	前年比%	男	女	世 帯 数
385 890	392 228	270 867	23 288	10.35	12 075	11 213	12 112
387 101	393 548	274 560	24 531	5.34	12 674	11 857	12 951
388 413	394 462	278 240	25 965	5.85	13 253	12 712	13 691
389 539	395 313	281 631	28 350	9.19	14 322	14 028	15 127
390 440	395 860	285 724	30 358	7.08	15 625	14 733	15 919
391 665	396 437	290 052	31 597	4.08	16 707	14 890	15 962
393 023	397 269	293 790	32 980	4.38	17 355	15 625	19 360
394 277	397 914	297 481	33 619	1.94	17 545	16 074	19 235
394 974	398 531	300 543	30 518	9.22	15 670	14 848	17 615
394 755	398 033	302 750	27 529	9.79	13 857	13 672	14 919
394 635	398 056	305 874	25 684	6.70	12 725	12 959	12 339

平 成 23 年 10 月 1 日									
男	前年比%	女	前年比%	性比	世帯数	前年比%	1世帯あたり 平均人員	面積km ²	人口密度
407 360	0.50	411 015	0.41	99.1	318 213	0.15	2.57	1,558.04	525
394 635	0.06	398 056	0.13	99.1	305 874	0.73	2.59	-	-
12 725	13.08	12 959	8.60	98.2	12 339	18.07	2.08	-	-

3. 行政区別人口

行政区別に人口・世帯数をみると、中区が人口・世帯数ともに最も多く、人口は242,985人(構成比29.7%)、世帯数は106,000世帯(同33.3%)である。人口・世帯数ともに最も少ないのは天竜区で、人口は34,619人(同4.2%)、世帯数は13,397世帯(同4.2%)である。

人口密度も同様に、最も高いのは中区の5,494人/km²、最も低いのは天竜区の37人/km²である。

性比(女性を100とした場合の男性の割合)は、南区が100.9と最も高く、続く東区も100.7で、男性の割合が高い。性比が最も低いのは、天竜区の93.4である。

【図5 行政区別人口・世帯数(構成比)】
外円:人口/内円:世帯数

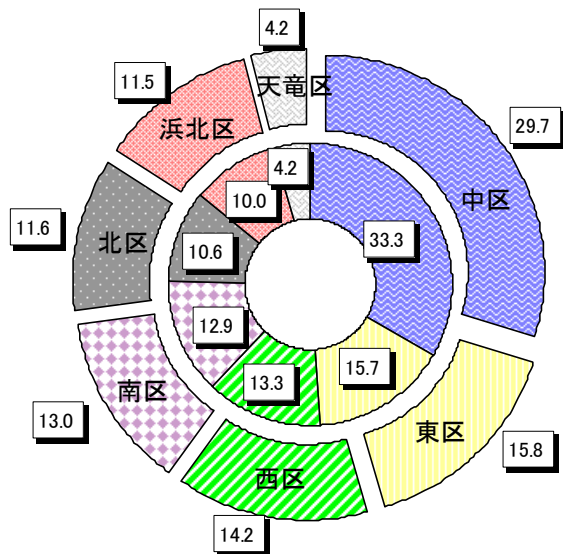


表3 区別の人口・世帯数等

区	平成22年10月1日				平		
	総数	男	女	世帯数	総数	前年比%	男
中区	244 256	121 667	122 589	106 565	242 985	0.52	120 868
東区	129 526	65 050	64 476	49 680	129 255	0.21	64 849
西区	116 418	58 027	58 391	42 238	116 309	0.09	58 015
南区	106 141	53 403	52 738	40 841	106 081	0.06	53 287
北区	95 511	47 135	48 376	33 605	95 158	0.37	46 942
浜北区	93 062	46 232	46 830	31 266	93 968	0.97	46 681
天竜区	35 403	17 098	18 305	13 474	34 619	2.21	16 718

4. 年齢別人口

年齢別に人口をみると、実数では老年人口(65歳以上)が増加し、年少人口(15歳未満)と生産年齢人口(15歳～64歳)が減少している。構成比では、年少人口が14.0%で前年比0.1%減、生産年齢人口が63.0%で前年比0.8%減少しているのに対し、老年人口は23.0%で前年比0.9%増加している。

行政区別にみると、年少人口の占める割合が最も高いのは西区(15.3%)で、最も低いのは天竜区(8.4%)である。

生産年齢人口の占める割合が最も高いのは中区(64.5%)で、最も低いのは、年少人口と同様天竜区(54.4%)である。

表4 年齢3区分別人口

	平成22年	平成23年							
	浜松市	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
年少人口(15歳未満)	115 971	110 852	30 813	18 748	17 384	14 387	12 716	13 928	2 876
構成比(%)	14.1	14.0	13.3	14.9	15.3	14.2	13.6	15.1	8.4
生産年齢人口(15歳～64歳)	523 546	499 918	149 706	79 873	71 252	63 943	58 755	57 774	18 615
構成比(%)	63.8	63.0	64.5	63.7	62.7	63.1	62.7	62.8	54.4
老年人口(65歳以上)	180 800	181 921	51 664	26 818	25 077	23 001	22 272	20 381	12 708
構成比(%)	22.1	23.0	22.2	21.4	22.0	22.7	23.7	22.1	37.2

平成23年		10月		1日		面積 k m ²	人口密度
女	性比	世帯数	前年比%	1世帯あたり平均人員	人口構成比		
122 117	99.0	106 000	0.53	2.29	29.7	44.23	5 494
64 406	100.7	49 925	0.49	2.59	15.8	46.29	2 792
58 294	99.5	42 353	0.27	2.75	14.2	114.40	1 017
52 794	100.9	41 018	0.43	2.59	13.0	47.02	2 256
48 216	97.4	33 801	0.58	2.82	11.6	295.59	322
47 287	98.7	31 719	1.45	2.96	11.5	66.51	1 413
17 901	93.4	13 397	0.57	2.58	4.2	944.00	37

注) 平成22年3月16日 浜名湖における浜松市と湖西市及び新居町との境界の決定並びに浜松市と湖西市の境界修正により面積変更

年齢構成指数をみると、年少人口指数は前年と同様22.2、老年人口指数は同1.9ポイント上昇の36.4、従属人口指数は同1.9ポイント上昇の58.6、老年化指数は同8.2ポイント上昇の164.1である。老年化指数の上昇が著しく、高齢化が進んでいることが分かる。

行政区別にみると、老年人口指数・従属人口指数において天竜区が突出して高く、生産年齢人口が少ないことを示している。老年化指数は全ての区で100を超えており、老年人口が年少人口を上回っていることが分かる。

【図6 年齢3区分別人口(構成比)】

【人口の年齢構成の特徴を表す指数】

- 年少人口指数(生産年齢人口に占める年少人口の割合)

$$\frac{\text{年少人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$
- 老年人口指数(生産年齢人口に占める老年人口の割合)

$$\frac{\text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$
- 従属人口指数(生産年齢人口に占める年少人口と老年人口の和)

$$\frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$
- 老年化指数(年少人口に占める老年人口の割合)

$$\frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

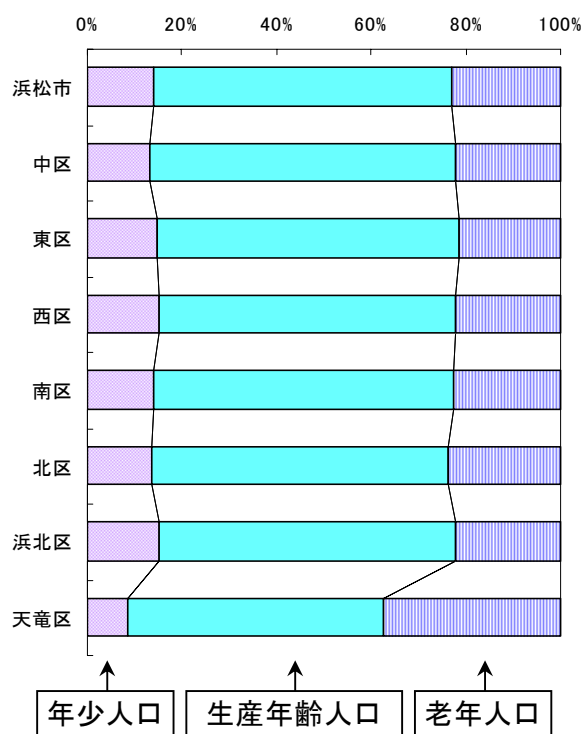


表5 年齢構成指数

	平成22年	平成23年							
	浜松市	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
年少人口指数	22.2	22.2	20.6	23.5	24.4	22.5	21.6	24.1	15.5
老年人口指数	34.5	36.4	34.5	33.6	35.2	36.0	37.9	35.3	68.3
従属人口指数	56.7	58.6	55.1	57.1	59.6	58.5	59.6	59.4	83.7
老年化指数	155.9	164.1	167.7	143.0	144.3	159.9	175.2	146.3	441.9

住民基本台帳人口の平均年齢は44.31歳で、前年の44.02歳より0.29歳上昇している。男女別にみると、男性は42.88歳(前年42.59歳)、女性は45.73歳(同45.45歳)で、ともに前年に比べ上昇している。外国人登録人口の平均年齢は32.36歳で、前年の31.80歳より0.56歳上昇している。男女別にみると、男性は32.08歳(前年31.58歳)、女性は32.73歳(同32.02歳)で、ともに前年に比べ上昇している。

行政区別にみると、住民基本台帳人口の平均年齢は、前年と同様すべての区において上昇しており、最も上昇幅が大きかったのは天竜区の0.45歳で、最も上昇幅が小さかったのは浜北区の0.15歳であった。外国人登録人口の平均年齢は、前年に比べ、いずれも上昇している。

表6 平均年齢

【住民基本台帳】

	22年			23年		
	平成 男	平成 女	合計	平成 男	平成 女	合計
浜松市	42.59	45.45	44.02	42.88	45.73	44.31
中区	42.40	45.40	43.91	42.75	45.70	44.23
東区	41.54	43.96	42.74	41.84	44.33	43.08
西区	41.56	44.55	43.06	41.92	44.86	43.40
南区	42.21	45.10	43.65	42.46	45.34	43.89
北区	43.29	46.38	44.86	43.58	46.70	45.16
浜北区	42.48	44.50	43.50	42.60	44.68	43.65
天竜区	50.66	54.54	52.67	51.19	54.92	53.12

【外国人登録】

	22年			23年		
	平成 男	平成 女	合計	平成 男	平成 女	合計
浜松市	31.58	32.02	31.80	32.08	32.73	32.36
中区	31.89	32.47	32.18	32.26	33.16	32.71
東区	31.32	32.41	31.87	31.85	33.17	32.53
西区	29.87	30.52	30.19	30.79	31.45	31.11
南区	30.78	30.88	30.83	31.39	31.41	31.40
北区	32.60	31.76	32.16	33.09	32.37	32.70
浜北区	32.42	32.34	32.38	32.25	32.74	32.48
天竜区	38.55	38.06	38.29	38.56	38.55	38.55

人口ピラミッド(5歳階級)は、住民基本台帳人口において、第一次ベビーブーム世代である62～64歳(昭和22～24年生)と、第二次ベビーブーム世代である37～40歳(昭和46～49年生)の人口が多いことを表している。外国人登録人口は、30歳代前半の人口が最も多い。

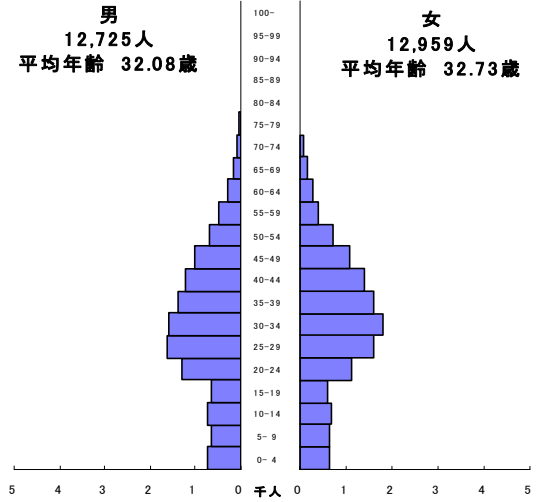
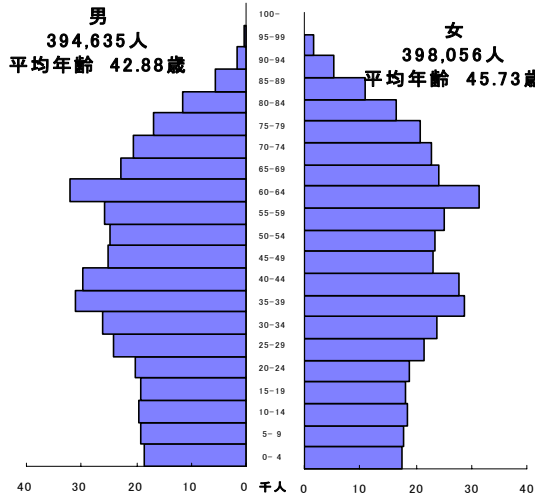
行政区別にみても概ねその傾向があるが、特徴的な区もある。北区の住民基本台帳人口は、他区に比べ年齢階級による凹凸が少ない。天竜区の住民基本台帳人口には、第二次ベビーブーム世代の凸が見られない。

【図7 人口ピラミッド(5歳階級)】

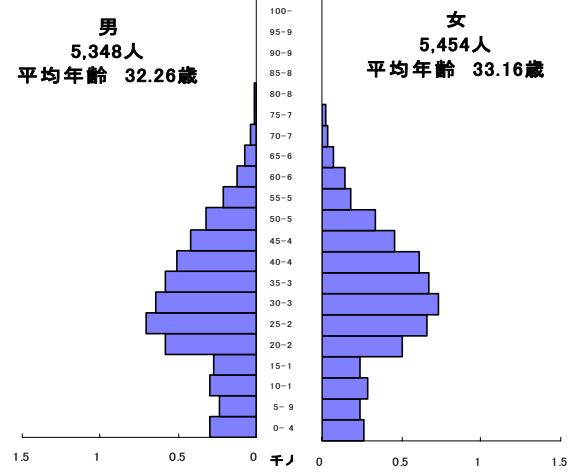
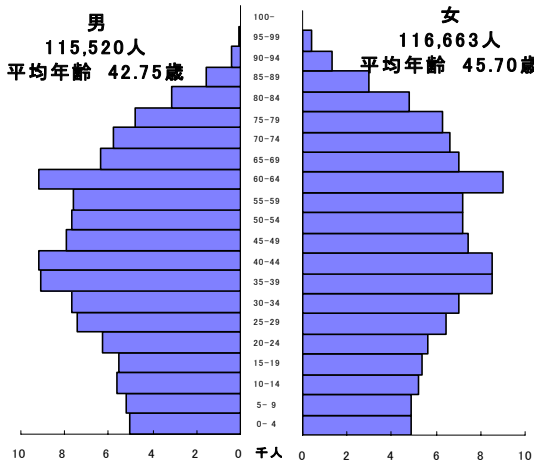
<住民登録人口>

<外国人登録人口>

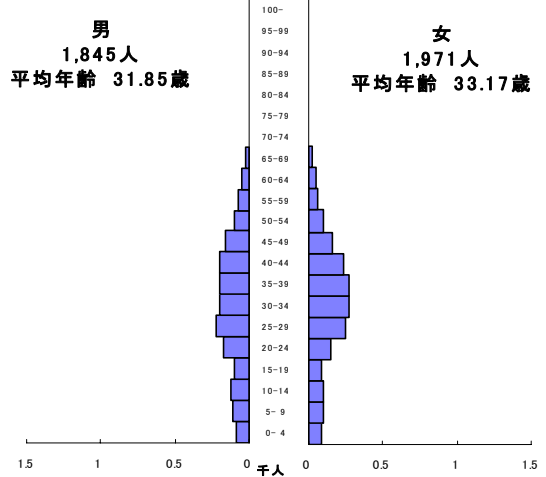
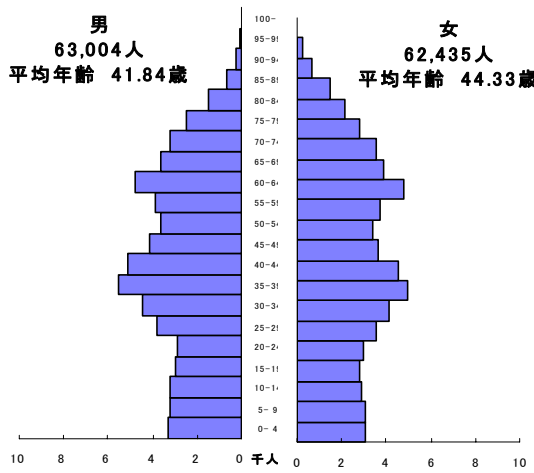
《 浜 松 市 》



《 中 区 》



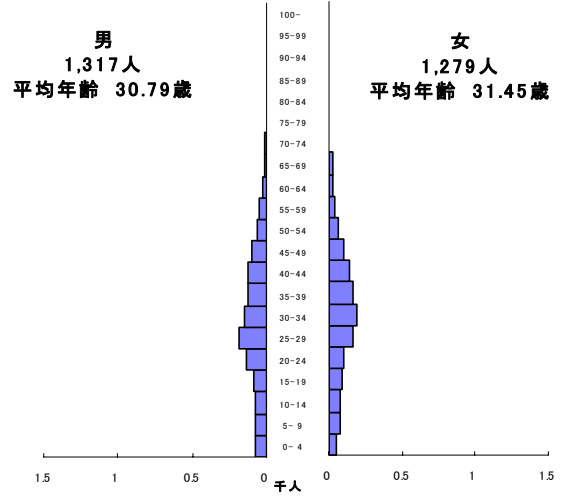
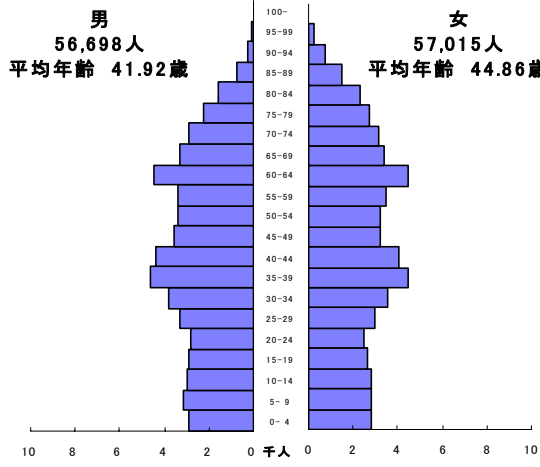
《 東 区 》



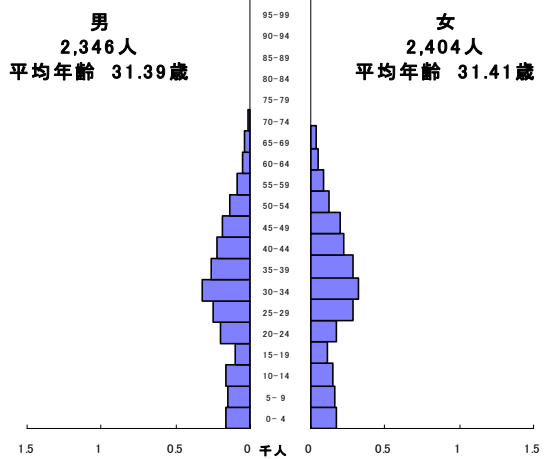
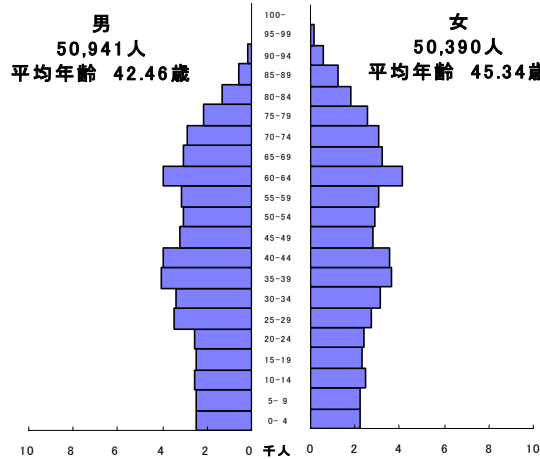
《住民登録人口》

《西 区》

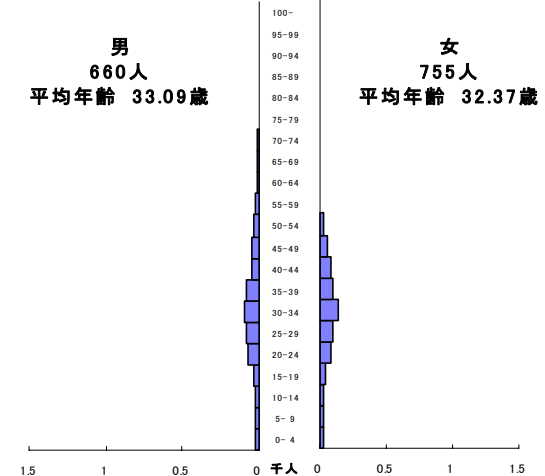
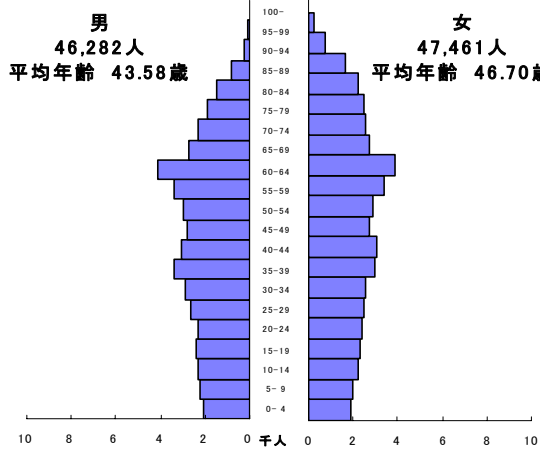
《外国人登録人口》



《南 区》



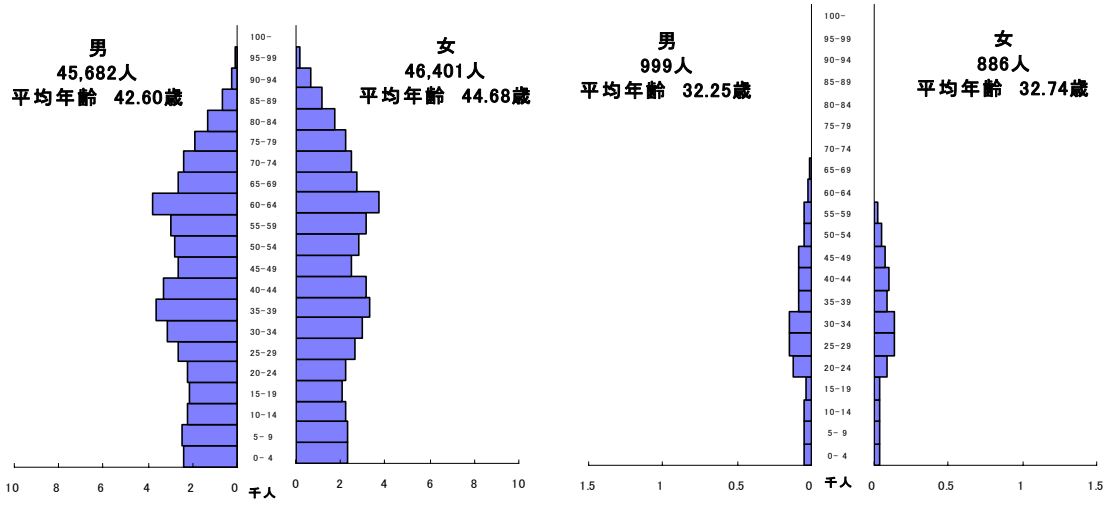
《北 区》



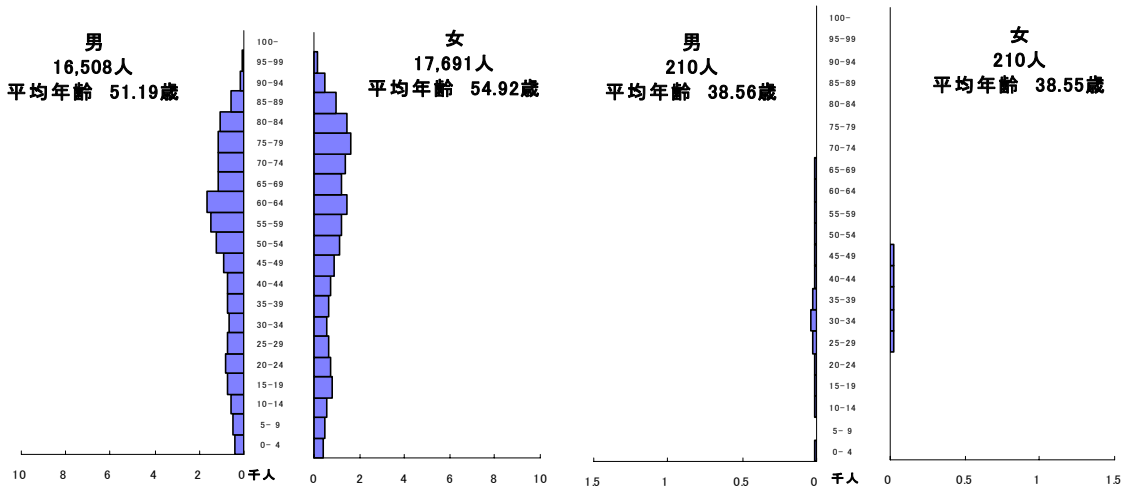
<住民登録人口>

<外国人登録人口>

《 浜 北 区 》



《 天 竜 区 》



5. 人口動態(平成23年1月～12月)

(1) 自然動態

平成23年1月から12月までの自然動態をみると、出生数は7,277人、出生率(人口1,000人あたりの出生数)は8.89‰(パーミル)である。これに対し、死亡数は7,367人、死亡率(人口1,000人あたりの死亡数)は9.00‰で、両者の差である自然増加数は-90人、自然増加率(人口1,000人あたりの自然増加数)は-0.11‰である。

前年と比較すると、出生数は189人減で2年ぶり減少、死亡数は317人増で5年連続増加している。自然増加数は506人減で4年連続の減少である。

行政区別にみると、出生数は中区、東区、西区の順に多く、死亡数は中区、西区、東区の順に多い。自然増加数は東区、浜北区、中区の順に多く、北区と天竜区では減少している。

率をみると、出生率が最も高いのは東区、最も低いのは天竜区である。逆に、死亡率が最も高いのは天竜区、最も低いのは東区であり、従って自然増加率も、最も高いのが東区、最も低いのが天竜区である。

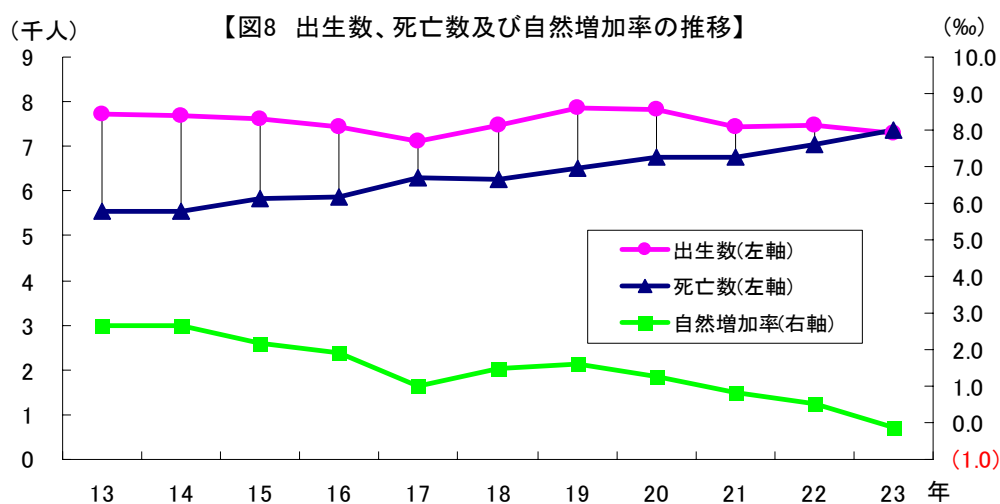


表6 自然動態

区 別	出 生			死 亡			自 然 増 加		
	総 数	出生率(‰)	前年比(%)	総 数	死亡率(‰)	前年比(%)	総 数	自然増加率(‰)	前年比(%)
浜松市	7,277	8.89	2.53	7,367	9.00	4.50	-90	0.11	121.63
中 区	2,150	8.85	-	2,006	8.26	-	144	0.59	-
東 区	1,299	10.05	-	977	7.56	-	322	2.49	-
西 区	1,095	9.41	-	1,055	9.07	-	40	0.34	-
南 区	960	9.05	-	862	8.13	-	98	0.92	-
北 区	730	7.67	-	912	9.58	-	-182	1.91	-
浜北区	904	9.62	-	737	7.84	-	167	1.78	-
天竜区	139	4.02	-	548	15.83	-	-409	11.81	-
平成22年	7,466	9.10	0.28	7,050	8.59	4.38	416	0.51	39.80

(2) 社会動態

平成23年1月から12月までの社会動態をみると、転入者数は21,589人、転入率(人口1,000人あたりの転入者数)は26.38‰(パーミル)である。これに対し、転出者数は23,254人、転出率(人口1,000人あたりの転出者数)は28.41‰で、両者の差である社会増加数は1,665人減少となり、社会増加率(人口1,000人あたりの社会増加数)は△2.03‰である。

前年と比較すると、転入者数は92人増、転出者数は1,533人減少となった。社会増加数は1,625人増で、49.39‰の増加となっている。

行政区別にみると、転入者数・転出者数ともに中区、東区、西区の順に多い。社会増加数はすべての区において減少しており、中区、東区、南区の順に減少数が多い。率をみると、転入率・転出率ともに最も高いのは中区であるが、社会増加率はすべての区で減少しているが、なかでも浜北区が最も減少の幅が少なく、北区がそれに続いている。

自然動態と社会動態を比較すると、本年は自然増加数-90人に対し社会増加数は1,665人減少となり、前年の減少に比べ、その幅は小さくなっているが、引き続き人口は減少している。

【図9 転入者数、転出者数及び社会増加率の推移】

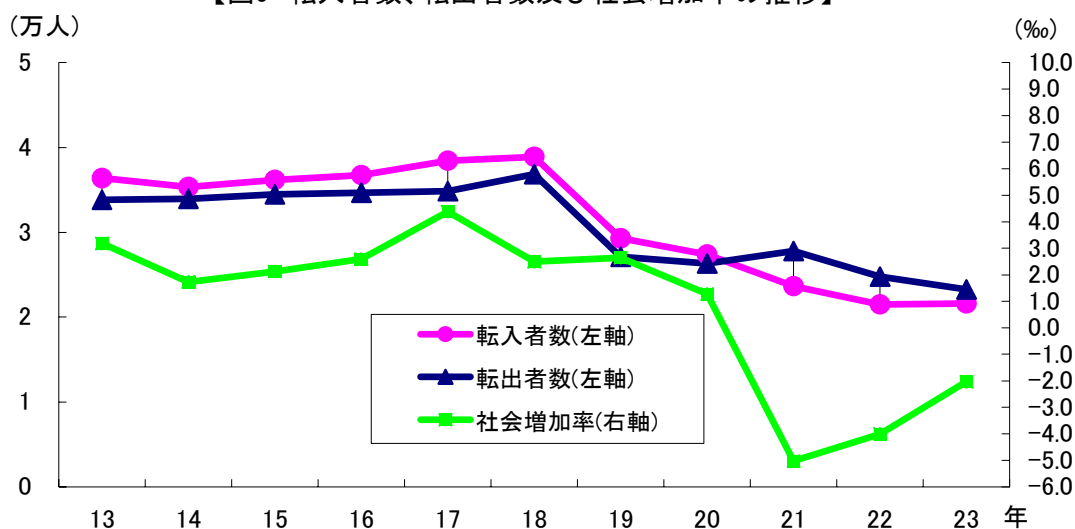


表7 社会動態(市外移動)

区 別	転 入			転 出			社 会 増 加		
	総 数	転入率(‰)	前年比(%)	総 数	転出率(‰)	前年比(%)	総 数	社会増加率(‰)	△は減少率 前年比(%)
浜松市	21,589	26.38	0.43	23,254	28.41	6.18	1,665	2.03	49.39
中 区	8,798	36.21	-	9,455	38.91	-	657	2.70	-
東 区	3,352	25.93	-	3,677	28.45	-	325	2.51	-
西 区	2,873	24.70	-	3,094	26.60	-	221	1.90	-
南 区	2,556	24.09	-	2,829	26.67	-	273	2.57	-
北 区	1,790	18.81	-	1,888	19.84	-	98	1.03	-
浜北区	1,734	18.45	-	1,746	18.58	-	12	0.13	-
天竜区	486	14.04	-	565	16.32	-	79	2.28	-
平成22年	21,497	26.21	9.12	24,787	30.22	10.83	3,290	4.01	20.59

6. 人口移動状況(住民基本台帳・平成23年1月～12月)

平成23年1月から12月までの人口移動状況をみると、東海地方での出入りが最も多く、転入者は8,821人(構成比51.5%)、転出者は8,309人(48.5%)である。以下、関東地方、近畿地方と続いている。

東海地方を県別にみると、転入者・転出者ともに最も多いのは静岡県で、東海地方における移動者の約6割を占めている。関東地方においては、転入者・転出者ともに東京都、神奈川県に多い。

大都市(東京都特別区部及び政令指定都市)別にみると、転入者は東京都特別区部、静岡市、名古屋市の順に多く、転出者は東京都特別区部、名古屋市、静岡市の順に多い。

全国でみると46人の転入超過であるが、北海道、関東地方、近畿地方、九州・沖縄地方に対しては転出超過である。東海地方においては512人の転入超過であるが、愛知県に対しては転出超過である。

表8 地方別転入・転出者数

地 方	転 入				転 出				転入超過数(△は転出超過数)		
	総 数	構成比(%)	男	女	総 数	構成比(%)	男	女	総 数	男	女
総 数	16,739	100.0	9,497	7,242	16,693	100.0	9,429	7,264	46	68	22
北海道	219	1.7	121	98	233	1.5	156	77	14	35	21
東 北	491	2.3	264	227	397	2.5	235	162	94	29	65
関 東	3,941	23.2	2,301	1,640	4,485	27.5	2,490	1,995	544	189	355
北陸甲信越	631	3.8	364	267	554	3.5	328	226	77	36	41
東 海	8,821	52.1	4,836	3,985	8,309	49.9	4,581	3,728	512	255	257
近 畿	1,160	7.4	644	516	1,338	7.0	772	566	178	128	50
中 国	569	3.4	410	159	387	1.8	226	161	182	184	2
四 国	172	1.0	106	66	115	0.7	67	48	57	39	18
九州・沖縄	735	5.1	451	284	875	5.6	574	301	140	123	17

注1) 住民基本台帳人口移動報告月報(総務省統計局)による。

注2) 東北地方：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 関東地方：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 北陸甲信越地方：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県 近畿地方：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県 中国地方：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県 四国地方：徳島県、香川県、愛媛県、高知県 九州・沖縄地方：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

注3) 都道府県別・大都市別の転入・転出者数は、統計表6に掲載。

表9 東海地方県別転入・転出者数

県	転 入				転 出				転入超過数(△は転出超過数)		
	総 数	構成比(%)	男	女	総 数	構成比(%)	男	女	総 数	男	女
総 数	8,821	100.0	4,836	3,985	8,309	100.0	4,581	3,728	512	255	257
静岡県	5,629	63.8	3,073	2,556	5,067	61.9	2,767	2,300	562	306	256
岐阜県	312	3.5	172	140	300	3.4	182	118	12.0	10	22
愛知県	2,601	29.5	1,437	1,164	2,676	30.8	1,470	1,206	75	33	42
三重県	279	3.2	154	125	266	3.9	162	104	13.0	8	21